

4 気象 (平成24年1月～12月)

1月：西高東低の冬型の気圧配置となることが多く、平年と同様に晴れの日が多くなったが、上旬はじめ頃や20日から25日にかけて気圧の谷や低気圧の影響で曇りや雨または雪の日があった。東京（大手町）では20日に平年よりも17日遅く、また昨冬よりも21日遅く初雪を観測した。23日夜は上空の寒気の影響で雷を伴った雪となり、東京（大手町）で4cmの積雪となった。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間と月降水量は平年並となった。

2月：西高東低の冬型の気圧配置となることが多く、平年と同様に晴れの日が多くなったが、上旬・中旬・下旬とも期間の中頃に本州南岸に停滞した前線や低気圧の影響で曇りや雨または雪の日があった。29日は本州の南海上を低気圧が通過したため雪となり、東京（大手町）では2cmの積雪となった。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間は少なく、月降水量は多かった。

3月：上旬は本州の南海上を通過した低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。5日から6日にかけては前線を伴った低気圧の影響で大雨となり、三宅島では5日に日降水量142.0mm、6日に日最大1時間降水量65.0mmを観測し、日最大1時間降水量は3月として統計開始（1942年）以来の極値を更新した。中旬以降は低気圧と高気圧が日本付近を交互に通り天気は数日の周期で変わった。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間は少なく、月降水量は多かった。

4月：3日は日本海で急速に発達した低気圧の影響で荒れた天気となり、東京（大手町）では最大瞬間風速29.6m/sを観測した。中旬から下旬にかけては高気圧におおわれて晴れた日もあったが、低気圧や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなった。また、上旬後半および中旬後半から下旬はじめにかけて、寒気やオホーツク海高気圧の影響で気温の低い日があった。東京（大手町）の月平均気温、月間日照時間、月降水量はいずれも平年並となった。

5月：上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり雷雨となる日が多くなった。東京（大手町）では雷を観測した日が6日・9日・10日・18日・22日・28日と合計6日あり、平年（1.4日）に比べて多かった。また2日から3日にかけては関東の南岸を前線を伴った低気圧が通過したため大雨となった。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間は多く、月降水量はかなり多かった。

6月：台風や梅雨前線および低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。19日の夕方から20日の明け方にかけては、和歌山県南部に上陸後東日本を縦断した台風第4号の影響で暴風雨となった。また22日は関東の南部を東

進した低気圧の影響で大雨となった。下旬の後半は梅雨前線が本州の南に離れ、北から高気圧におおわれたため晴れの日が多くなった。なお関東甲信地方は9日ごろ、平年よりも1日遅く、昨年よりも13日遅く梅雨入りした。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間と月降水量は平年並となった。

7月：前半は梅雨前線や上空の寒気の影響で曇りや雨の日が多く、後半は高気圧におおわれて晴れの日が多くなった。14日は暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で未明から明け方に雷を伴った大雨となった。21日から22日にかけてはオホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響で曇りや雨となり気温はかなり低くなつたが、26日から28日にかけては太平洋高気圧におおわれて晴れたため気温がかなり高くなつた。なお関東甲信地方は25日ごろ、平年よりも4日遅く、昨年よりも16日遅く梅雨明けした。東京（大手町）の月平均気温は平年並、月間日照時間は多く、月降水量は平年並となった。

8月：上・中旬は太平洋高気圧が日本の東海上で強く、本州付近に張り出したため晴れの日が多くなったが、南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で曇りや雨または雷雨の日があった。下旬は太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温がかなり高い日が多くなつた。東京（大手町）の月平均気温はかなり高く、月間日照時間は多く、月降水量はかなり少なかった。

9月：上・中旬は大気の状態が不安定となり局地的に雷雨となった日があったが、太平洋高気圧におおわれて晴れて気温が高い日が続き残暑が厳しかつた。下旬は日本の東にある太平洋高気圧が非常に強い状態は収まり、気圧の谷や北に偏った高気圧および関東南岸の停滞前線の影響で曇りや雨の日が多くなつた。また23日は関東の南海上を前線を伴った低気圧が通過したため大雨となった。東京（大手町）の月平均気温はかなり高く、月間日照時間はかなり多く、月降水量は平年並となつた。

10月：上旬は高気圧におおわれて晴れる日もあったが、3日から4日にかけて日本の東を進んだ台風第19号や気圧の谷の影響で雷を伴う大雨となった。中旬は低気圧と高気圧が日本付近を交互に通り天気は数日の周期で変わつた。下旬は高気圧におおわれて晴れる日が多くなつたが、寒冷前線や低気圧の影響で雨となった日があった。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間は多く、月降水量は平年並となつた。

11月：上旬は西高東低の冬型の気圧配置や移動性高気圧におおわれたため晴れの日が多くなつたが、6日は関東南岸を低気圧が進んだため大雨となった。中旬は低気圧と高気圧が日本付近を交互に通過したため天気は数

日の周期で変わり、17日は関東の南岸を低気圧が通過した影響で大雨となった。下旬は気圧の谷や関東の南岸を進んだ低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。なお18日は東京地方で「木枯らし1号」が吹いた。東京(大手町)の月平均気温は低く、月間日照時間は平年並、月降水量は多かった。

12月：西高東低の冬型の気圧配置となり晴れの日が多くなった。

かたが、上空の気圧の谷や関東の南岸を東進した低気圧の影響で曇りや雨の日があった。また北から強い寒気が流れ込んだ影響で気温がかなり低い日が多くなった。なお東京(大手町)では10日に初霜・初水を観測した。東京(大手町)の月平均気温はかなり低く、月間日照時間は平年並、月降水量は多かった。

(調査：東京管区気象台)

気温・降水量（平成24年）練馬区豊玉上

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
月平均気温 (°C)		3.4	4.4	7.9	14.0	19.2	21.2	26.5	29.0	25.5	18.5	11.1	6.1]	16.4]
平年値 (°C)		4.6	5.4	8.6	14.1	18.6	21.9	25.7	27.2	23.2	17.4	11.8	7.0	15.5
月平均最高気温 (°C)		8.1	9.1	12.8	19.2	24.5	25.8	31.4	34.1	30.1	23.0	15.5	10.9]	21.2]
平年値 (°C)		9.8	10.5	13.8	19.6	23.8	26.5	30.4	32.1	27.6	21.9	16.7	12.2	20.4
月平均最低気温 (°C)		-0.3	0.6	3.7	9.6	14.8	17.9	22.9	25.2	22.1	14.6	7.5	2.2]	12.6]
平年値 (°C)		0.4	1.0	4.0	9.2	14.1	18.1	22.1	23.7	19.9	13.8	7.8	2.9	11.4
月降水量 (mm)		55.5	94.0	135.0	120.0	246.5	208.0	151.5	47.5	194.5	131.5	131.0	19.0]	1534.0]
平年値 (mm)		51.0	58.3	115.9	124.0	134.0	164.1	168.6	181.4	222.1	189.7	90.3	49.9	1549.1

気温・降水量（平成24年）練馬区石神井台

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
月平均気温 (°C)		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	4.8]	///
平年値 (°C)		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
月平均最高気温 (°C)		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	8.4]	///
平年値 (°C)		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
月平均最低気温 (°C)		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	1.2]	///
平年値 (°C)		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
月降水量 (mm)		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	41.0]	41.0]
平年値 (mm)		///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///

注：①観測地は東京管区気象台練馬地域気象観測所であるが、平成24年12月25日に練馬区豊玉上から練馬区石神井台に移転した。この移転に伴い観測条件に変化が生じたため観測データの統計を切断する。以下の点に留意願いたい。

- (1) 12月の平均気温・平均最高気温・平均最低気温は豊玉上においては1日から24日、石神井台においては27日から31日の観測データから算出している。
- (2) 12月の月降水量は豊玉上においては1日から25日、石神井台においては26日から31日の観測データから算出している。
- (3) 年間の平均気温・平均最高気温・平均最低気温は豊玉上においては1月から11月までの月平均値から算出している。なお石神井台においては算出に必要な観測データが不足しているため年間の平均値は求められない。
- (4) 年間の降水量は豊玉上においては1月から12月までの観測データ、石神井台においては12月の観測データから算出している。
- (5) 豊玉上の平年値は昭和56年～平成22年の30年間の観測データを平均した数値であるが、石神井台には適用できないため現在平年値はありません。

②月平均値は一日の平均気温、最高気温、最低気温を毎月に平均した数値である。なお、一日の平均気温は毎正時（1時から24時）の気温を合計した値を24で割った値である。

③12月及び年間の観測データに付加している記号（[]）は、統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている値であることを示す。

調査：東京管区気象台